

第1回尾張旭市総合計画審議会（第1部会） 会議録

- 1 開催日時
令和5年7月6日（木） 午前10時から11時30分まで
- 2 開催場所
尾張旭市役所南庁舎3階302・303会議室
- 3 出席委員
加藤 千晴、フロルデリスゴメス 佳子、星野 幸子、松宮 朝、森 喜美
5名
- 4 欠席委員
0名
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員等
企画部長 松原 芳宣、企画課長 谷口 洋祐、政策企画係長 田中 広樹、
政策管理係主査 水谷 緩美、政策企画係主査 北川 歩、
インターンシップ実習生、
三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)名古屋（MURC） 佐々木 雅一
- 7 議題等
基本目標1及びその施策に関する調査審議
会議の要旨

企画部長	<p>本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>定刻になりましたので、ただいまから、尾張旭市総合計画審議会第1部会の第1回目の部会を開催させていただきます。</p> <p>開催に先立ちまして、本日は、企画課の職員のほかに、本市の総合計画の策定を支援していただいている三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社名古屋の佐々木様にも同席いただいておりますので、御紹介させていただきます。</p> <p>また、市企画課で現在インターンシップ実習を行っております学生さんも同席させていただきますのでよろしくお願いたします。</p> <p>それでは、以降の進行を、松宮部会長にお願いいたします。</p>
松宮部会長	本日は、御多忙の中、第1回部会にお集まりいただき、

	<p>誠にありがとうございます。</p> <p>前回、全体会にありましたように、一つ一つの検討をしていくこととなりますので、よろしくお願いします。</p> <p>本日の会議につきましては、お手元に配布いたしております次第に従って進めさせていただきますので、よろしくお願いします。</p> <p>それでは、議事に入ります前に、次第の1-(2)として、部会の審議範囲と今後の進め方について確認をしておきたいと思っておりますので、企画課、説明をお願いします。</p>
政策企画係長	(部会資料1-1 部会について 説明)
松宮部会長	<p>ただいま、第2回の全体会で説明がなされました部会の審議範囲等や具体的な進め方の説明がありました。</p> <p>皆様の御異論がなければ、企画課から説明がありました内容で進めていきたいと思っておりますがいかがでしょうか。</p>
	(意見なし)
松宮部会長	<p>それでは、これより、次第の2、議事に移ります。</p> <p>本日は、基本目標1、保健・医療・福祉の分野の調査審議を進めさせていただきます。</p> <p>最初、企画課から主要な部分の説明を受け、その後、皆様から御意見をいただく形で審議を進めていきたいと思っております。企画課から説明をお願いします。</p>
政策企画係長	(部会資料3 施策別指針(素案)2ページから11ページまで、資料8 基本構想(素案)4ページ上段に基づき、基本目標1及びその施策について説明)
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>基本目標1に関連する説明がありました。</p> <p>このあと、施策ごとにお気づきの点、御意見、御質問、御提案をいただきたいと思っております。最後に、基本目標1についての御意見等をいただければと思っております。一つ一つ順番に進めさせていただきます。</p> <p>まず初めに、部会資料3の2、3ページにある「施策1-1」について、御発言をお願いしたいと思っております。</p>
森委員	<p>レイアウトについて、「めざす姿」があって「主な取組」がありますけど、「めざす姿」に対して、「これをやりたい」ということですね。そのあとに「現状と課題」がありますが、どちらが先の方が良いのかなと思っております。</p> <p>「めざす姿」があって、「現状と課題」があり、それに対して「どう取り組みます」とした方が良いのかと思っております。</p>

	<p>それと、右側の「現状と課題」には「1-1-1」という番号がないため、番号を入れた方が分かりやすいと思いました。</p> <p>第六次総合計画から新しく「市民・地域等の取組」が設けられ、市民の皆さんにこうやってくださいね、というものだと思います。これを見た市民がどう捉えて取り組んでもらえるのか疑問な部分もあります。</p> <p>3ページ「現状と課題」の黒丸2つ目、「SNSなどで健康に関する情報が得やすくなったが、誤った情報もあふれています」とあります。これは皆さんに「正しい情報を使ってくださいね」というものだと思うのですが、これからの時代、誤った情報は誰が作って流すかというところで、最近はAIが盛んで間違った情報が作られるということもあります。「AIが全て誤った情報」というのはおかしな話で、良いこともあると思うのですが、今後10年続く計画であるため、そういうことを見据え、AIに関する記載も必要ではないでしょうか。</p> <p>次に、「現状と課題」黒丸4つ目、「妊娠期から出産・子育て期における、個別の支援や対応などが必要な事例が増加している」とありますが、必要な事例はある程度数字を掴んでいるのでしょうか。例えば、ここ何年かの推移が分かるのかどうか。心配しているのは、若い世代が望まない妊娠をして、変なことが起きてしまうことです。通常の妊娠で、子育てにつながるのは良いが、そうではない方に対して、相談体制の充実へつなげられないかと感じました。</p> <p>また、その下の黒丸、「人材の育成や活動の活性化」とありますが、実際に人材の育成は進められるものでしょうか。ここをしっかりとやらないと、健康に結びつかないと思います。</p>
松宮部会長	<p>施策1-1の3ページまでで、お答えいただけるところはお答えいただきたいと思います。</p> <p>まず、全体に関わることとして、「現状と課題」が右側にあり、時系列的にいうと、御指摘のとおり「現状と課題」を分析して、こういう取組をしていきます、という流れだろうと思います。「主な取組」を一番目立つように伝えたいという趣旨だと思いました。これについてはいかがでしょうか。</p>
企画課長	森委員から御指摘いただいたことについて、第五次総合

	<p>計画までは左側に「現状と課題」があり、右側に基本事業をレイアウトしておりました。</p> <p>第六次総合計画を策定するときが一番のポイントとなる部分はどこかを検討し、市民の皆さんに一番伝えたい部分として、左上に「めざす姿」を記載しております。次に、めざす姿の実現のために、主に行政が行っていくこと、そして市民の皆さんや地域の皆さんに行っていただきたいことという順に記載し、左側のページを最もお伝えしたい部分としております。</p> <p>近年では、「現状と課題」を割愛する自治体もありますが、本計画では、参考情報として割愛をせずに掲載していくこととしています。今、右側のページから左側のページの順に説明させていただいているので、聞いていてやや違和感があったかと思えます。しかし、第五次総合計画が、活字が多く、一番読んでほしい行政の取組に行きつく前に、左側のページだけで読み終わってしまうと本末転倒という意見があり、そのため、市民の皆さんに伝えたいことを左側のページにし、順番を入替しております。</p> <p>右側と左側のページの関係は、番号があったり、なかったりと分かりにくいという御意見がありましたので、今後、最終的な紙面を調製していく中で、いただきました御意見を参考に、番号を入れる工夫等をしてまいりたいと思えます。</p>
松宮部会長	レイアウトは全体に係るものですが、他に意見はございますか。
	(意見なし)
松宮部会長	<p>レイアウトは、全体に関わるところで、「市民の取組」やそれに対する「支援」をどうしていくのかは、この施策だけに限らない話だと思うので、再度検討いただければと思います。</p> <p>「現状と課題」2つ目のSNSについて、正しい情報に関する提案はこれからどうなるかですが、この問題に限らず市として情報発信に努めていくということであると思えます。</p> <p>また、4つ目、5つ目に記載している子育て期の相談体制や市民協働による健康づくりについては、具体的な中身の充実というよりは、専門職の支援員を増やすという方向かと思いましたが、そういうお考えでよろしいでしょうか。</p>

まとめてお答えをさせていただきます。

まず、2ページを御覧いただきますと、左下に「市民・地域等との取組」がありますが、今回新しく掲載する項目となります。

市民・地域・団体の方々に、行政として期待する内容を記載している部分と、市民ワークショップ等の中で「私たちにもできるのではないか」と御意見のあったものや、事業者ヒアリングやアンケート調査等で「市民自らこういうことを取り組むべきだ」といった御意見を参考に、市民の意見を踏まえながら記載させていただいております。これは、各施策に共通する部分でございます。

それから、個別の部分として、3ページの上から2つ目「デジタル化の進行」について、現在、生成AIが急速に普及しております。総合計画の原文を作成したのが、ちょうどここ半年で、生成AIに対する記述が入っていないと思います。そのため、森委員の意見を聞いて、このタイミングで何らかの記載が必要かと思いました。この施策の個別の部分にするのか、全般的な部分にするのかは、検討させていただき、生成AIの社会に与える影響は大きいいため、この第六次総合計画の中においてキーワードをどこかで触れていければ良いと思います。

それから、妊娠・出産・子育て期における事例が増加しているという記述の部分でございます。下に6項目の指標がありますが、「妊娠後期の妊娠相談対応率」といった指標を見ながら、今後、行政として様々な相談への対応を図っていくこととなります。いわゆる母子保健の相談件数や相談内容の中身の分析等は、毎年、担当部署で確認しているところでございます。成長の段階に合わせて支援をしていく「伴奏型支援」と言われていますが、この相談体制の充実を進めていくことが、「主な取組」の4つ目であると思います。ここの表現について、今のキーワードを入れるかは、担当課と相談させていただきます。

最後に5つ目として、「健康づくりに関する人材の育成について進めていかれるのか」という御指摘でした。本日は、関係する委員として、星野委員にも御参加いただいております。健康づくり推進員、食生活に関する市民委員について、市がこれまで複数回にわたる講座を開催したり、健康づくり推進員自らが地域の筋力トレーニング活動を通じて、地域の方々の人材を育成しています。こうした取組

	<p>は、行政も行い、市民団体の皆さんにもさらに広げていただいております。よろしければ、ここで一言コメントをお願いいたします。</p>
星野委員	<p>感想になりますが、めざす姿「市民が、自ら健康づくりを実践・継続することで、元気に生活しています。」と挙がっています。私は、健康づくり推進員として、近所で続けていらっしゃる方は、元気で笑顔で生活していらっしゃると思います。それと、3ページに「フレイル」が挙げられています。ここで、フレイル予防について取り組んでおりますので、少し御紹介させていただきます。</p> <p>私たち、健康づくり推進員は、毎月の定例会と養成サークルを行っており、定例会では、フレイル予防についての勉強会を行っております。コロナで開催できておりませんでした。最近6月に再開され、「オーラルケア」の話をさせていただきました。その知識を身に着け、養成サークルで再勉強し、筋トレ体操、マッサージや体操を行っております。その他のフレイル予防としては、脳トレ体操としてコグニサイズ。転倒防止予防として「水戸黄門体操」、誤嚥予防に「ツバメ体操」、全身運動として「タオル体操」等、定例会で勉強し、皆様に伝えています。</p>
松宮部会長	<p>市民協働の健康づくりの推進についてお答えいただきありがとうございます。</p> <p>他には御質問、御意見はありますでしょうか。最後に全体を通して御意見をいただく場もありますので、ひとまず進めさせていただきます。</p> <p>続いて、4、5ページの施策1-2「地域医療・福祉医療の推進」に関して、何か御質問・御意見はありますでしょうか。</p>
森委員	<p>4ページ「市民・地域等の取組」で「かかりつけ医を持ち」とありますが、皆さんがかかりつけ医を選ぶ際には、どういう情報で選んでいるかなど。私の場合は、過去からずっとかかっているお医者さんをかかりつけ医としています。高齢者の方はだいたい昔からの医者をかかりつけ医としていると思います。非常に大事なことであると思います。</p> <p>その下に「ジェネリック医薬品」とありますが、ジェネリックは安くて良いと思いますが、正直使いたくないとも思います。効き目は同じという謳い文句ですが、ジェネリックを使ったために良くないことが起きたという情報もある</p>

	<p>ため、薬局からジェネリックの話を受けても、高くても良いからちゃんとしたものが欲しいと思っています。安全性の問題も疑問点があります。それによる医療費の高騰も出てくるため、これから気を付けないといけないと思っています。</p> <p>5ページの「現状と課題」黒丸3つ目、高齢者の自己負担割合の引き上げが今後出てきますが、75歳以上は2割になる、10年後は3割になってしまうのかな、という心配もしています。支える人が少なくなるため、仕方ないとは思いますが、そうになると、本当の医療が受けられない人が出てきてしまう心配があります。私が感じたのは、以上です。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>1つ目の「かかりつけ医」は大きく出していますが、強く推進するのでしょうか。</p>
企画課長	<p>現状、「かかりつけ医」という言葉が、かなり普及してきたと感じております。昔から普及させていきたいところで、尾張旭市の現状としては、かなりクリニックや地域の医療機関が充実していると思います。かかりつけ医をお持ちの方も70%後半くらいようです。</p>
松宮部会長	<p>なぜこの質問をしたかと言いますと、全体会で、「尾張旭市の特性や良さ」を出せればという話があったと思うので、他市と比べ医療機関が充実していることが、尾張旭の良さを出すことにつながるのではないかと思います。</p>
企画課長	<p>地域医療を安心して使える、という市民満足度も非常に高いです。かかりつけ医をお持ちの方が多くおかげで、新型コロナワクチンの接種に当たっても、個別医療機関を中心にかかりつけ医で接種できる体制を構築することで、より安心して接種をしてもらうことができました。</p> <p>今回、改めて「かかりつけ医制度の普及」を掲げたのは、国において法律が整備されてきている状況を踏まえ、総合計画の一つの柱としています。</p>
松宮部会長	<p>ジェネリック医薬品は、市の独自よりも国のことだと思います。強調する必要はあるのでしょうか。</p>
企画課長	<p>この部分は、市が保険者になっている国民健康保険の「財政の健全化」に資する医療費を、どのように抑制していくかという課題であり、市としては、ジェネリック医薬品の活用について普及啓発をしていく立場にあります。</p> <p>「市民・地域等の取組」の欄にキーワードが入っている</p>

	<p>ということで、市民自らやっただけの声があるのなら良いですし、価値観が多様なところもありますので、「安全性が少しでも高いものを」というのは御意見としてあると思っています。</p>
松宮部会長	<p>少し微妙なところがあると思いました。価値観によるものを記載して良いものなのかなど。</p>
企画課長	<p>市民の2項目目の取扱いについては、検討します。</p>
松宮部会長	<p>積極的な医療費の削減というのは、先ほどのお話しでもあったように、健康という状況を作ることによって削減するとかで、市民ができることというのは、お金を安くするというものより、施策1-1にある取組を出した方が良いのではないかと思います。正規の医薬品が悪いわけではなく、安くなるだけであるため、これを推す必要はあるのかと思いました。</p> <p>また、福祉医療費の増加に係るものは大事だと思いますが、予防的な話は、「市民ができる・地域ができる」といった活動になると思うので、御検討いただきたいと思います。</p> <p>他には、よろしいでしょうか。</p>
森委員	<p>5ページ目の指標1-2-2「陶生病院を利用した延市民件数」とありますが、基準値に対しての目標値は、下げる数値でしょうか。</p>
企画課長	<p>これは、増えれば良い、減れば良いというものではないため、目標値が定められない指標だと思います。指標の中には、御指摘のとおり、目標を定めるのではなく、「推計値」を代わりに載せるか、目標として載せないというものも出てくると思います。</p>
森委員	<p>高度医療体制は、この地域だと陶生病院。愛知医大は長久手市だし、難しいところです。</p>
松宮部会長	<p>ほかにも福祉医療費助成が高ければ良いのかという話もあると思うため、今後、指標については御検討ください。</p> <p>他には、施策1-2に関してよろしいでしょうか。</p>
松宮部会長	<p>それでは、次に資料6、7ページの施策1-3「高齢者福祉の推進」について、御質問・御意見をいただければと思います。</p>
森委員	<p>高齢者は75歳以上ですか。</p>
企画課長	<p>65歳以上です。</p>
森委員	<p>65歳だと就労がまだありますね。</p> <p>「主な取組」黒丸3つ目ですが、高齢者福祉の担い手育</p>

	<p>成は、だんだん担い手も高齢化してきているのが現状だと思います。70歳の方が75歳の方をお世話する、75歳の方が70歳の方をお世話する、といった逆転現象も起きています。そういうところが「市民・地域等の取組」の「市民」に「高齢者の生活支援」とあるように、結局は老々問題が出てくると思います。自分が、お世話する方に回るのか、される方になるのか気になって読んでいました。</p> <p>65歳からの就労だと、だいたい70歳くらいまでは皆さん仕事をしていきたいとなっています。福祉の関係でも、担い手の面で、非常に厳しいと思いながら読んでいました。</p> <p>「主な取組」黒丸4つ目に「介護施設などにおける介護ロボットやICTの活用を支援」とありますが、これは助成金が既にあるのでしょうか。</p>
企画課長	あります。
森委員	これは充実していかないと、担い手がいなくなってしまうため心配です。私からは以上です。
松宮部会長	ありがとうございました。 他にはよろしいでしょうか。
星野委員	「主な取組」黒丸1つ目「高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進」に、市営バスのことが書かれていますが、以前、骨折した際に市営バスあさぴー号を利用しました。どこまでいっても100円。利用される高齢者は、病気や運転免許返納により使われる方がたくさんおられます。今後も料金を100円でお願いしたいと思います。
松宮部会長	市営バスやタクシー助成は、高齢者が様々な催しへ参加する促進にもつながると思います。貴重な御意見ありがとうございます。 他にはいかがでしょうか。
森委員	タクシーの利用助成は、何歳からでしょうか。
企画部長	タクシー助成は、80歳以上の高齢者と障がいのある方が対象です。
松宮部会長	ありがとうございました。 私自身、全体会で話したように、「安心の部分」もあれば御検討いただきたいと思います。
松宮部会長	それでは、続いて資料8、9ページの施策1-4「障がい者福祉の推進」について、御発言をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。

森委員	<p>「主な取組」黒丸2つ目ですが、「経済的な自立が図られるよう就労支援に取り組みます」とありますが、私の知り合いで、母と娘で住んでいて、娘が一人で外に出られないという方がいます。その方は、親と一緒に外出できるが、自分で仕事に行こうとはならないようで、自分が死んだら娘はどうなるのか、という心配をしています。</p> <p>もう一人は、知的障がいと身体障がいが少しある小学校の子をもつ方で、中学校をどうするか、瀬戸市にある中学校から高校がつながっているところに入れないと子が生活できないのではという不安がある、という話を聞きます。</p> <p>経済的自立は非常に大事なことですから、これをどのように尾張旭市として結び付けていけるのかが大事なことだと思います。</p> <p>その下に「障害福祉サービス事業所に対する支援」とありますが、そこにも結びついてくると思います。「各種研修費用の助成」は、これからお金がかかってくるので、障がい者福祉という点で、大変だなと思って読んでいました。</p> <p>話は違いますが、右側9ページの「指標」に出てくる数字は、基準値が令和5年として、10年後は増えているとか減っているとかになってくるわけですね。一番下の1-4-4「会議などの開催回数」とありますが、これは、何の会議ですか。</p>
政策企画係長	<p>こちらは、自立支援とか、他機関と一緒にやる会議を示しております。担当課に確認したところ、昨年では26回ほど開催していると聞いております。</p>
森委員	<p>この目標値は多くなるのですか、少なくなるのですか。</p>
松宮部会長	<p>会議は多くなると良いのですよね。虐待件数などは少なくするということですね。</p>
企画課長	<p>この書き方ですと、会議としか書いていないため、会長がおっしゃるように、支援会議であれば多くなる方が良いでしょうし、逆に、そうでない場合は現状維持となる場合もでてきますので、内容を検討させてください。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>会議については、今のように支援の会議や地域ケア会議というものだと思います。</p> <p>森委員の御指摘いただいた、親の不安は「主な取組」1つ目の意思決定支援の話で、「後見」制度等を入れても良いのではないのでしょうか。市民の参加もできる分野です</p>

	<p>し、尾張東部の後見センターも充実していると思うので、入れても良いのかなと思います。</p>
<p>フロルデリスゴ メス委員</p>	<p>「現状と課題」の黒丸3つ目で、支援者を育成するための協力支援について、福祉の業界で本当に人手が不足しており、末期状態だと思います。</p> <p>育成をしても、なかなか就職につながらない。例えば、介護福祉士を持っていても、就職して資格を活かすことが減っています。この辺りの人材を確保するための取組をどのように考えられていますか。</p> <p>また、「市民・地域等の取組」で、「積極的に社会への参画を実施します」とか「障がい者の地域交流の機会創出に取り組みます」というのは、すごく素晴らしいことだと思うのですが、実際、ハード面が充実していないと難しいと思います。積極的に社会に出たいと思っても、バリアフリーでなければ行けないとか、医療的ケアは看護師がいないといけなとか、地域交流の場も障がい者トイレがないといけなとかがあるとあります。その辺のハード面の整備は、尾張旭市としてどのように考えられているのかと思いました。こういうものは様々なところで謳われますが、たった2cmの段差でも上がれない方がいらっしやったり、整備が整っていないことが多いと思いますので、市の考えが分かると良いと思います。</p> <p>先ほど、施策1-3「高齢者福祉の推進」でボランティアや人材育成の話がありましたが、実践の場がなかなかないということがあると思います。特に若い方の活動の場が少なく、いくらボランティアをしたいと思ってもする場がないため、そういう方をバックアップできると良いのではないかと思います。そういった方が活躍できる場を考えていただくと、双方にとって良いと思います</p>
<p>松宮部会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>関連して、バリアフリーは、地域福祉計画では数値も出していると思うので、そういう指標にすると分かりやすいのではないのでしょうか。市内にある駅や公共施設の何パーセントがバリアフリー化されているといった形で出せるのではないのでしょうか。</p> <p>もし、指標に活かせるなら、より促進する材料になるのではないかと思います。</p>
<p>企画課長</p>	<p>人的な面とハード面で、参考になる意見ありがとうございます。</p>

	<p>ハード面の指標としては、ソフト事業である「障がい者福祉の推進」に少し入れづらいと思いました。9ページにあります「障がい者計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」、「地域福祉計画」といった個別計画で、ハード面の分野においても、様々な取組や指標などについては、謳われていくと思います。以前の総合計画は、駅のバリアフリー化率が指標にありましたが、一定程度進んできたこともあり、今回の第六次総合計画の指標に入っていないませんでした。その他の施策も含めて、指標の必要性について検討していきたいと思います。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、続いて資料10、11ページの施策1-5「地域共生社会の推進」について、御発言をお願いしたいと思います。</p>
星野委員	<p>めざす姿「互いに支え合い、誰もが安心した暮らしを送っています」を見て、安心しました。私は城山町三ツ池に住んでいますが、御近所に老夫婦が多く、今は運転ができるけれど、運転ができなくなった時に買い物はどうしようという声を聞きます。城山町三ツ池は、買い物できるところがなく、今後、移動販売が来てほしいと思います。</p> <p>また、少子高齢化ということで、数年前まで子育て世帯とのつながりがありましたが、今は希薄になり、挨拶くらいしかありません。地域共生社会ということで、これがうまく地域に根差すと良いなと思いました。若い方が少ないので、どうしていかれるのか心配しております。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>挨拶、声掛け、地域活動の参加の在り方、買い物難民支援等をここで繋げていくことになると思います。理念的なところが多いかなと思うのですが、背後にそういうのがあるということが伝わるような印象になると思います。また、随時ブラッシュアップいただければと思います。ありがとうございました。他にはいかがでしょうか。</p>
森委員	<p>「めざす姿」の頭に「互いに支え合い」という言葉があり、非常に良い言葉ですが、本当にできるかなと思います。結局、隣近所も知らないということが多いですよね。戸建てならまだしも、マンションは戸を閉めたら、隣が誰かも家族構成も分からない中、本当に支え合えるのか心配しています。</p> <p>私は、社協や連合自治会の中でも、向こう三軒両隣とい</p>

	<p>う言葉を言いますが、それさえもできない。向こう三軒両隣でもいいから周りを把握してくださいと話をしています。前回の会議でも話しましたが町内会名簿すら持っていない町内も多いです。その中でも、まずは、家族構成から把握できると良いと思います。</p> <p>高齢者2人で住んでいるのか、親子で住んでいるのか、子は大きいのか小さいのか、まったく分からないのが現状ですから、プライベートな部分をどうやって、どこまで突っ込めるかが非常に難しいと思います。「互いに支え合い」という言葉は、簡単に終わってしまうのですが、どうやったら無関心のみんなが関心を持ち、個人情報が出たときの自分の意識をどうするかが大事だと思います。</p> <p>それから、「市民・地域等の取組」に「校区社会福祉推進協議会に加入し、地域福祉活動に参加」とありますが、校区社協に入ってくれる人はまずいません。ワークショップで出た意見かもしれませんが、いくら声をかけても、入ってくる方は70歳以上の方です。私が40、50代でやっていた時、70代の方が入ってきて正直「勘弁して」と思っていました。いざ、自分が70歳を超えて、誰に声をかけるかと言われると同じ年代になってしまう。計画に記載するのは良いですが、現状は若い人がまったく入りません。</p> <p>また、校区により違いはありますが、PTAを校区社協のメンバーに入れるところもあります。市の社協から校区社協にPTAを入れてと言ってもらえると良いと思っています。ただ、PTAは共働きが多く、なかなか難しいとも思います。そういうことを踏まえながら、地域共生社会をどのように作り上げるかは非常に難しいと思います。</p>
<p>フロルデリスゴメス委員</p>	<p>地域共生社会の推進は非常に難しいと思います。「互いに支え合い、誰もが安心した暮らしを送っています」と、ものすごく簡単な表現がされていると思います。</p> <p>福祉って自分事になって初めて調べるし分かる。森委員が話されたように、「若い夫婦が、普段は仕事しているし、休みの日は遊びに行きたい」というのは、自分事でないから重大さが分からないし、他人事なんだと思います。それを責めるわけにはいかないですし、自分事として捉えるためには、教育の段階から教えていかないと根付かないと思います。</p> <p>私の夫はスペイン人ですが、スペインで生活していたと</p>

	<p>きに、日常的に杖をついた方が多く歩いており、仕事をされていきました。そして、市民は日常的に障がいのある方を助ける風土でした。国民性かもしれませんが、小さい頃からそれが当たり前で育っている国民だからだと感じています。今の日本は、学校で「改めて教えないといけない」という環境なのかと思います。</p> <p>私が活動している中で、学校現場はハードルが高く入っていくことが難しい。身近で現場にあることを子供たちに教えたいと思っても、学校に入るまでに色々な課題があって、到達までに時間がかかってしまい、結局、小集団の中で広めていくことしかできない、という人たちを見えています。</p> <p>また、「地域全体で見守ります」は、どうやって見守るのか、具体的なことがないと難しいのかなと思います。めざす姿を自分事として捉えられるような文言でないと、少しきれい過ぎるのではないかという印象を思いました。</p>
松宮部会長	<p>共通して、多世代、若い世代の参加が大きなテーマなのと、重層的支援体制整備事業にひきつけても良いと思いますが、参加支援のところで具体的な方向が見えないと、少し理念的すぎるという指摘がありましたので、その内容を充実させていただけると良いと思います。御検討いただき、修正いただければと思います。貴重な御意見ありがとうございました。</p>
星野委員	<p>「現状と課題」黒丸2つ目で「今後、生活困窮による相談や生活保護の申請が増加する恐れがあります」とありますが、生活保護費をもらった直後に使い切ってしまうという話を見たり聞いたりします。また、子どものためではなく自分のために使ってしまうということもあるようです。そのため、現物支給としてはどうでしょうか。</p>
松宮部会長	<p>生活困窮者の相談という話でしょうか。それとも、生活保護の話でしょうか。</p>
星野委員	<p>生活保護の話です。お金を支給することが増える一方。テレビを見ていると、若い家族で月に何十万ともらっている方もおり、年金生活者は保護費よりも安いので、「困ったら生活保護になればいいや」という声も聞きますので、お金よりも現物支給が良いと思いました。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。 そろそろ時間が来ています。 この後、7月27日と8月23日に部会があり、8月2</p>

	<p>3日では、本日の結果を踏まえた全体の話。また、基本目標1については修正されたものを、最終的に更新する時間もあります。今回伝えきれなかった意見は、8月23日の場でお伝えいただければと思います。</p> <p>基本目標1の全体を通じて何か御意見はありますでしょうか。</p>
	(意見なし)
松宮部会長	<p>続きまして、次第の3、その他に移りたいと思います。企画課より、説明をお願いします。</p>
企画課長	<p>次回部会は、7月27日の木曜日、午前10時から本日より同日、ここ302・303会議室で開催させていただきます。今回は、基本目標2こども・子育ての分野と基本構想についての審議をお願いしたいと考えております。</p> <p>皆様大変お忙しい中、恐縮ですが御出席のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>続いて、連絡事項でございます。</p> <p>皆様に調査審議していただいております総合計画の素案について、パブリックコメントを実施いたします。パブリックコメントは、市民の皆さんに誰でも見ていただいて自由に御意見を頂戴するというもので、7月20日(木)から8月18日(金)まで市ホームページや主要公共施設に素案を設置し、市民や事象者などの皆様から御意見を広く募ってまいります。</p> <p>なお、本日机上に参考資料10を配付しておりますが、こちらは市ホームページなどに設置する素案のうち、すでにお配りしております「基本構想」と「施策別指針」を省略したもので、3月に開催した第1回総合計画審議会の全体会で御説明した内容等となっております。</p> <p>事務局からは以上でございます。</p>
松宮部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただ今の説明に対し、委員の皆様から御質問等はございますでしょうか。</p>
	(意見なし)
松宮部会長	<p>企画課からは何かございますか。</p>
企画部長	<p>特にございませんが、皆様、本日は、長時間にわたり貴重な御意見、御審議いただき、誠にありがとうございました。次回以降も引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。</p> <p>以上でございます。</p>
松宮部会長	<p>以上をもちまして、第1回第1部会の日程をすべて終了</p>

	いたしました。
--	---------

	皆様、御協力誠にありがとうございました。
--	----------------------